

ランチタイム コンサート

～コンピュータによるシンセサイザ演奏会～

1987年10月 6日 (火) 12時30分
 於：ウェスレー・チャペル
 井田フォーカスグループ

プログラム

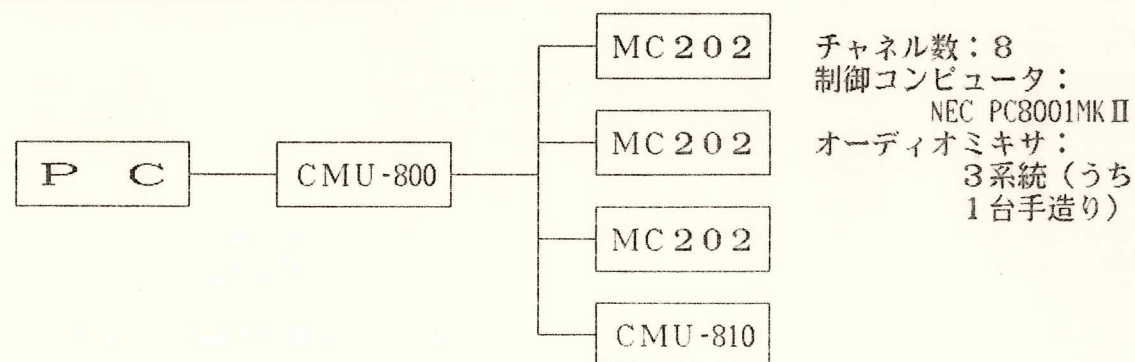
曲 目	作 曲 者
夕日おちて (讃49)	不 詳
静けきのりの (讃310)	William B. Bradbury, 1859
丘の上に十字架立つ (讃Ⅱ182)	George Bennard, 1913
Pick a Winner	Lew Gillis
Love is a Song	Larry Morey & Frank Churchill
主よ、われらを祝し (讃Ⅱ259)	Peter C. Lutkin, 1900

井田フォーカスグループ略歴

1984年より始められた。

「讃美歌をプログラムしよう」というテーマでコンピュータによるシンセサイザの制御と演奏を行ってきた。本年度のメンバーは4名。

使用するシンセサイザ・システム



シンセサイザ・プログラミングの手順

1. 選曲及び編曲
2. プログラム (チャンネルごとのCV, ST, GTの入力)
3. 各チャンネルの調整 (例：MC202 は16リュウ4スイッチ)

曲 目 解 説

夕日おちて (讃49) NOW THE DAY IS OVER

今回のコンサートは、讃美歌「夕」の部のこの曲でスタート。原作者のゲールド (イギリス) はこの曲の他に、有名な讃美歌「みよや十字架の旗高し」を作っている。一日を締めくくる礼拝でよく歌われるこの曲を聴けば、午後の授業のことも忘れ、心を落ち着けて、このコンサートに、没頭することができるでしょう。(担当者 金子)

静けきのりの (讃310) SWEET HOUR

日本において最もよくうたわれた祈禱の歌で、今日でもかなり多くの愛唱者がいます。きれいなメロディーをシンプルなアレンジで構成してみました。(担当者 落合)

丘の上に十字架立つ (讃Ⅱ182) OLD RUGGED CROSS

19C 後半に英米、特にアメリカでの大衆伝道説教家たちが信仰復興運動の際、さかんに歌わせ流行した、いわゆる福音唱歌 (ゴスペルソング) といわれるものの1つです。作曲家ジョージ・ベナードの、300曲以上の作品の中で現在唯一うたいがれたものです。アメリカでも現在もお1番人気のある讃美歌で、2位以下をずっとひきはなしています。讃美歌集の和声に少し味付けしてみました。(担当者 笠松)

PICK A WINNER

作曲者のギリスについても、この曲についても、細かいことは全くわかりません。今回ハンドベル用の楽譜を元に編曲しました。最も仕上がりが遅れた曲ですが、鑑賞に耐えられるものになったと思います。(担当者 金子)

LOVE IS A SONG (FROM "Bambi")

これは、有名なウォルト・ディズニー映画の中の「バンビ」の曲を、William A. Paynがハンドベル用にアレンジしたものである。実際には、5オクターブ61個のハンドベルによって演奏されるが、流れるような美しいメロディーラインをシンセサイザを使って表現することを試みた。シンセサイザでは音域が限られ、音色も微妙に変わる為前期間、この1曲に専念することになってしまった。無邪気に遊ぶバンビを思い浮かべながら聞いて頂ければ幸いです。(担当者 藤田)

主よ、われらを祝し (讃Ⅱ259) THE LORD BLESS YOU

「歌詞は、旧約民数記6-24にある、いわゆる『アロンの祝禱』に7唱アーメンを付加したものである。ただし、邦訳では信徒による聖歌隊が歌うことを考慮して、代名詞を『あなた』から『われら』としてある。なお、この曲は我が国のキリスト教音楽界にもなじみ深い米国東部ニュージャージー州プリンストン市にあるウェストミンスター・クワイア・カレッジの非公式校歌のように用いられ、同校の各種の集会でしばしばうたわれていたということである。」(讃美歌第2編略解より) 一般に「アーメン・コーラス」と呼ばれる曲です。コーラス曲なので4声のところを8声にアレンジしてみました。コンサートの最後の曲にふさわしいものと思います。(担当者 落合)